



## 入学式報告

人間福祉心理学 学科長 高山由美子

2023年4月3日。暖かな陽ざしに包まれた午後、2023年度の入学式が挙行されました。総合人間学部人間福祉心理学1年次入学者、2年次及び3年次編入学者、大学院社会学専攻前期及び後期課程入学者、臨床心理学専攻修士課程入学者がチャペルに一堂に会しての式となりました。新入生のご家族をお招きすることは出来ないままでしたが、新型コロナウイルスの影響を受けて以降初めて、式の



中で讃美歌をうたうことができたことは喜びでした。石居基夫学長の「この人生に」と題したメッセージに真剣に耳を傾ける新入生は、新しい生活への不安と期待の気持ちでいっぱいだったと思います。理事長、後援会長にも祝辞をいただき、新入生一人ひとりの学びが守られ、豊かであるようにと祈りを共にする入学式となりました。

中で讃美歌をうたうことができたことは喜びでした。石居基夫学長の「この人生に」と題したメッセージに真剣に耳を傾ける新入生は、新しい生活への不安と期待の気持ちでいっぱいだったと思います。理事長、後援会長にも祝辞をいただき、新入生一人ひとりの学びが守られ、豊かであるようにと祈りを共にする入学式となりました。

## 卒業式が執り行われました

総合人間学部 学部長 田副 真美

2023年3月9日(木)に学部・大学院の卒業式が執り行われました。COVID-19感染予防のため、チャペルへの入場者数を制限した3部制による式典でした。保護者や関係の方々、そして、教職員がオンラインでライブ配信を視聴する中、卒業する学生たちは、卒業証書を授与され、学長の祝辞をいただきました。

11時からは、総合人間学研究科 社会福祉学専攻(博士前期課程2名、博士後期課程1名)、臨床心理学専攻(修士課程11名)の大学院生への学位授与が行われました。学部生の卒業式は、



13時から総合人間学部人間福祉心理学科・キリスト教人間学コース(7名)、臨床心理学コース(43名)、15時から福祉相談援助コース(24名)、地域福祉開発コース(6名)、子ども支援コース(22名)の授与が行われ、合計102名の学生が卒業しました。式典後は、中庭の暖かい日差しの中で、教員やサークルやゼミの後輩などが卒業生を出迎え、門出をお祝いしました。卒業生たちの晴れやかな笑顔や新たな道への決意を感じられるまなざしには、希望と可能性を感じました。

13時から総合人間学部人間福祉心理学科・キリスト教人間学コース(7名)、臨床心理学コース(43名)、15時から福祉相談援助コース(24名)、地域福祉開発コース(6名)、子ども支援コース(22名)の授与が行われ、合計102名の学生が卒業しました。式典後は、中庭の暖かい日差しの中で、教員やサークルやゼミの後輩などが卒業生を出迎え、門出をお祝いしました。卒業生たちの晴れやかな笑顔や新たな道への決意を感じられるまなざしには、希望と可能性を感じました。

## 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の結果報告

福祉相談援助コース主任・社会福祉実習主任 高山由美子

2023年3月7日に2022年度社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験結果が発表されました。本学の現役合格率は社会福祉士が60・5%

精神保健福祉士が100%でした。先輩方の頑張りを見ていた新4年生も、受験に向けてよい準備ができていたことを期待しています。

## 3月29日(水)、久しぶりに春の高校生のための体験講座を対面で行いました

准教授 高城絵里子

今回のテーマは「ルーテル一日体験入学！」初の試みである、入試疑似体験からプログラムが始まりました。模擬授業は、「はじめて学ぶ社会福祉」「はじめて学ぶ臨床心理」の二つ、さらに、在学生による社会福祉実習、心理実習の体験紹介がありました。授業後はサークル紹介!「手話サークル」「スポーツボランティアサークル」のメンバーが、体験を交えながら活動内容を紹介してくれました。その後の在校生とのフリートーク、キャンパスツ



## 市川一宏先生 金子和夫先生 最終講義・懇親会報告

准教授 廣瀬 圭子

満開の桜が咲き誇る3月4日、市川教授と金子教授の最終講義・懇親会が開催されました。最終講義は、対面とオンラインのハイブリット開催となりましたが、総勢250名の方にご参加いただきました。市川先生は、『市川一宏の足跡50年の歩みをふりかえって』として学長や社会福祉界のご活躍など輝かしい功績にあふれたご講義を、金子先生は『研究生活を振り返って…私の半世紀―反省記?』として、幼少期から社会福祉の学問分野に引き込まれていくまでの歴史を感謝と笑いと共にご講義をいただきました。また懇親会は、少人数のグループ別オンライン開催とし、参加者全員が両先生とお話できるプチ同窓会状態の楽しい時間を過ごすことができ、お二人のお人柄と人気を改めて感じる感謝の1日となりました。



## ジェームズ・サック先生 分島芳子先生 退任記念感謝会

教授 加藤 純

2月25日、ジェームズ・サック先生と分島芳子先生の退任記念感謝会を開催しました。感染症予防のため会場の参加人数を制限してオンラインを併用しました。サック先生と分島先生のメッセージからは、先達が築いたキリスト教カウンセリングの実践と教育を引き継ぎ、臨床心理学科と臨床心理学専攻へと歩み出した頃の苦労が語られましたが、苦勞にも増して、学生や院生に向き合い大切に育てたいという情熱が伝わってきました。授業や論文指導、スーパービジョンを受けて実力を養った修了生や卒業生、当時の苦樂を共にした旧教職員や名誉教授が参加して、お二人の温かいお人柄に長年の貢献にふさわしい和やかな会になりました。



## クヌーテン講演会報告

チャプレン 河田 優

クヌーテン講演会は、本学で教鞭を取られたクヌーテン博士ご夫妻を記念して、毎年4月のキリスト教月間に開催されています。本学が取り組む教育・研究の分野からキリスト教を土台とした働きについての講演がなされ、集まった学生や教職員は、年度の始めに「キリストの心を心とする」本学の建学の精神を胸に刻むのです。本年度は、卓志雄牧師(聖公会インマヌエル新生教会・カルト問題キリスト教連絡会)を招き、「神によって良しとされたわたしたち―もはや死もなく悲しみも嘆きも痛みもない」と題して講演をいただきました。講演の前半で卓牧師は「ご自分のこれまでの歩みを紹介されました。卓牧師の人生の転機はジャーナリストとしてカ

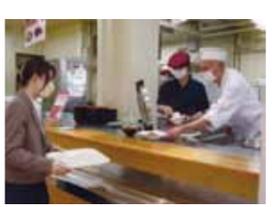


ルト問題を追っていた父の死でした。当時、海軍下士官であった卓牧師は、父の死をきっかけに牧師としての召命を受け、カルト宗団の過ちと危険性を訴える働きに生涯を捧げることを選択されたのです。講演の後半では、キリスト教会とカルト宗団の教義の違いなどを分かりやすく示しながら、その危険性を訴えられました。聖書は神によって「良し」とされた創造の喜びへと私たちを招きますが、カルトの教えは私たちの人生を破壊へと導きます。新入生をはじめ、会場に集まった学生たちは自分自身にも関わる問題として、熱心に聞き入っていました。

## 学生食堂のご紹介

事務管理センター 秋山 顕汰

本学の学生食堂は、感染症の影響で営業を中止していましたが、4月11日より再開され、更にキャンパスも活気を取り戻してきました。今回は本学の食堂には欠かせない料理人、高柳保さんにお話を伺いました。高柳シェフは2010年頃から携わってくれている大ベテランで、営業日の朝7時頃からたった一人で仕込みをしてくださいます。食堂再開を受けてインタビューしたところ、こんなお言葉をいただきました。「食べたもののや、『おいしい』『まずい』でもどんなことでも構わないのでいつでも声をかけてくれると嬉しいです。」ぜひシェフに会いに食堂に行ってみてください。たくさんの方のご利用を心よりお待ちしております。



## 新任教員紹介

笹尾千津子先生

臨床心理相談センターでは、四月より、笹尾千津子先生を指導相談員として迎え入れました。臨床心理学専攻大学院生へのスーパービジョンや、クライアントの面接地域支援活動などを担当します。また、専任講師として学部の「心理実習II」という授業で実習の引率や事前事後の指導などを担当します。



笹尾先生は、中期の危機や主観的幸福感などについて研究し、交流分析を主軸としてクリニックなどの臨床に携わっています。臨床心理士と公認心理師の両資格を有します。細やかな心遣いと豊富な実践経験により、学生や院生の心理支援の力を育ててくださるものと期待しています。(センター長 加藤純)